

第4回 教えて！CO₂クレジットの売買

平成27年10月19日(月)に名古屋商工会議所主催「省エネ・低炭素化によるコスト削減セミナー」において、J-クレジット制度の活用についてお話する機会がございました。

約40名が参加され、当日はご聴講者からクレジットの売買や価格などについて、いくつかの質問がございました。価格面については、特にご関心の高い内容でございますので、今回はその質問と回答をご紹介します。

Q.LED 照明や高効率ボイラーなど方法論の種類によって、CO₂クレジットの価格に違いはありますか。

A.CO₂クレジットを生み出す考え方が定められた方法論は排出削減と森林吸収の2種類に大別されますが、この排出削減と森林吸収では取引価格に差があります。排出削減よりも森林吸収のCO₂クレジットは高価です。森林吸収によるCO₂クレジットは、“森林”が消費者にとってイメージが良いため、クレジット活用者の需要が高くなるので価格が上がると言われています。一方で、LED 照明や高効率ボイラーなど省エネ設備導入など排出削減のCO₂クレジットには、あまり価格差がありません。

Q.CO₂クレジットの購入単位について、大口と小口で単価に違いはありますか。

A. はい、ございます。CO₂クレジットの最小取引単位は1tですが、たとえば100tや1,000t単位でご購入いただける場合はボリュームディスカウントがございました。また、証明書発行手数料については、取引1件あたりになります。

高効率ボイラーへの更新など、排出削減による中部産CO₂クレジット1t単位の場合は2,000円前後です。100tや1,000t単位の場合は、1,000円から1,500円前後、それ以上であれば単価はもっとお安くなることもあります。一方で、森林吸収のCO₂クレジットは1tあたり、10,000円から15,000円で取引されることが多いです。高価なこともあり、森林吸収のCO₂クレジットで大口購入はあまりございません。詳しくは販売元に直接お問い合わせください。

Q. 中部産 CO₂ クレジットを中部以外の事業者が購入することはできますか。

A. はい、できます。中部産 CO₂ クレジットの創出にあたっては中部に限定していますが、ご購入につきましては地区を問いません。

以上、少しでも参考になりましたでしょうか。

J-クレジット制度について、もっと詳しく教えてほしい、社内で勉強会を行って欲しいなどのご要望がありましたら、ソフト支援事業実施機関(三菱UFJ リサーチ&コンサルティング(株)名古屋)までお気軽にお問い合わせください。

三菱UFJリサーチ & コンサルティング株式会社 名古屋本部
コンサルティング・国際事業本部 経営戦略部
担当:松田
〒461-8516 愛知県名古屋市東区葵 1-19-30
電話 052-307-0309 Fax:052-307-1126